

労働市場分析レポート 第 14 号

平成 25 年 7 月 30 日

新卒応援ハローワーク利用者アンケート調査結果

昨年度中に新卒応援ハローワークを利用された大学生（平成 25 年 3 月卒）のうち、卒業までに就職が決まった方（以下就職決定者）と決まっていない方（以下未就職卒業者）に分けてアンケート調査を行い、集計を行った。

- ・調査期間：平成 25 年 3 月 25 日～平成 25 年 4 月 19 日
- ・調査方法：新卒応援ハローワークごとに就職決定者及び未就職卒業者各 10 名程度を対象。
未就職卒業生については、来所した方のうち無作為に選んだ方に直接聞き取り。就職決定者については、年度後半に就職が決まった方を任意に選定し、電話、メール等により聴取。
- ・回答数 1,128 人、うち就職決定者 558 人、未決定者 570 人

＜主な調査結果＞

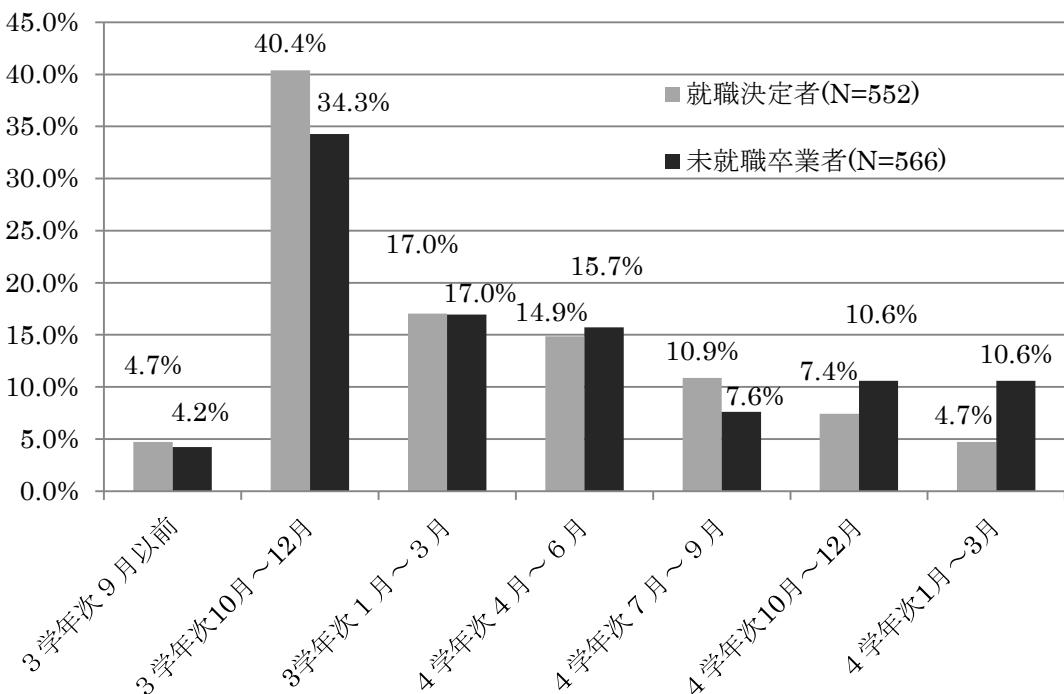
- ・就職活動を始めた時期は就職決定者と未就職卒業者と大きな差が見られない。両者とも、3 学年次 10～12 月が最も多い。（図 1）
- ・未就職卒業者は、就職決定者よりも就職活動を中断したことのある方の割合が高い。その中断時期は 4 学年次夏以降からの割合が高い。（図 2）
- ・新卒応援ハローワークを初めて利用した時期は、4 学年次夏以降がほとんどであるが、未就職卒業者に限ると卒業直前の 4 学年次 1 月以降が多い。（図 3）
- ・就職決定者について、その時期は 4 学年次 1 月以降が約 7 割を占めている（図 4）
- ・就職決定者について、新卒応援ハローワークにおける就職支援メニューの中では、ジョブサポーターによる個別支援の評価が最も高い。（図 5）

以上のことから、大企業の選考が一段落する 4 学年次夏以降に内定を得られていない場合であっても、あきらめず就職活動を続けること、新卒応援ハローワークによる個別の就職支援を活用することで、就職の可能性が高まるものと考えられる。 厚生労働省としては、今後とも大学等との連携を強化し、4 学年次後半になっても内定を得られていない場合は、できるだけ早く学生に新卒応援ハローワークを活用するよう働きかけっていく。

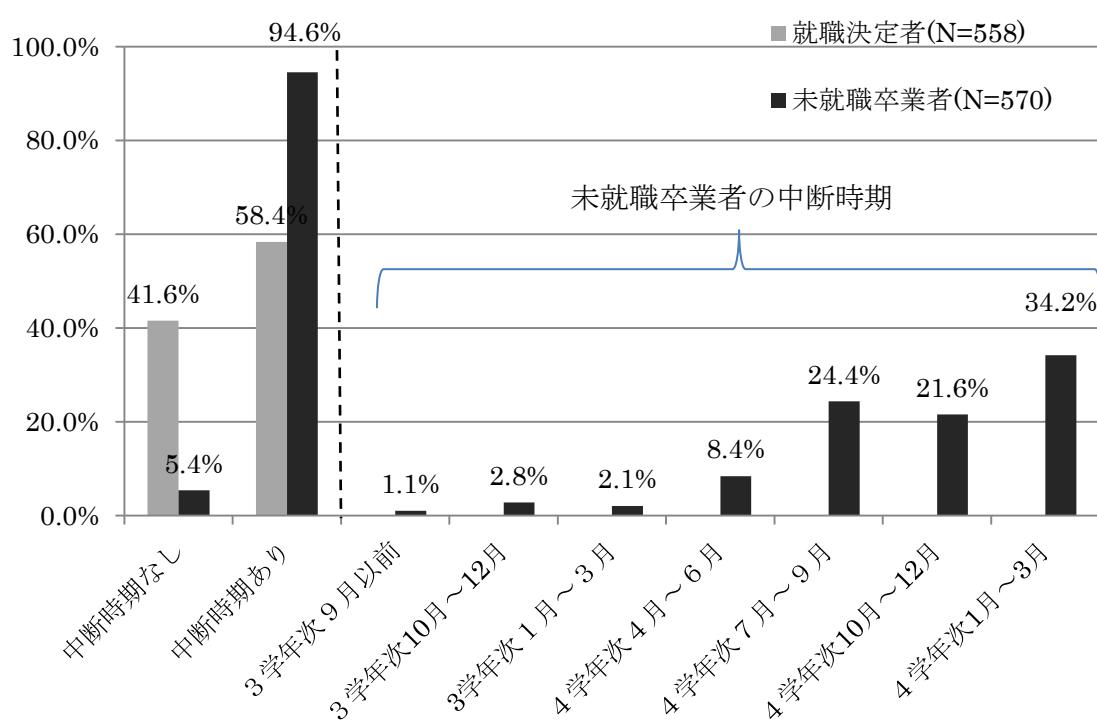
※平成 24 年度 新卒応援ハローワーク利用実績 延べ 709,648 人

新卒応援ハローワーク利用による就職実績 94,173 人

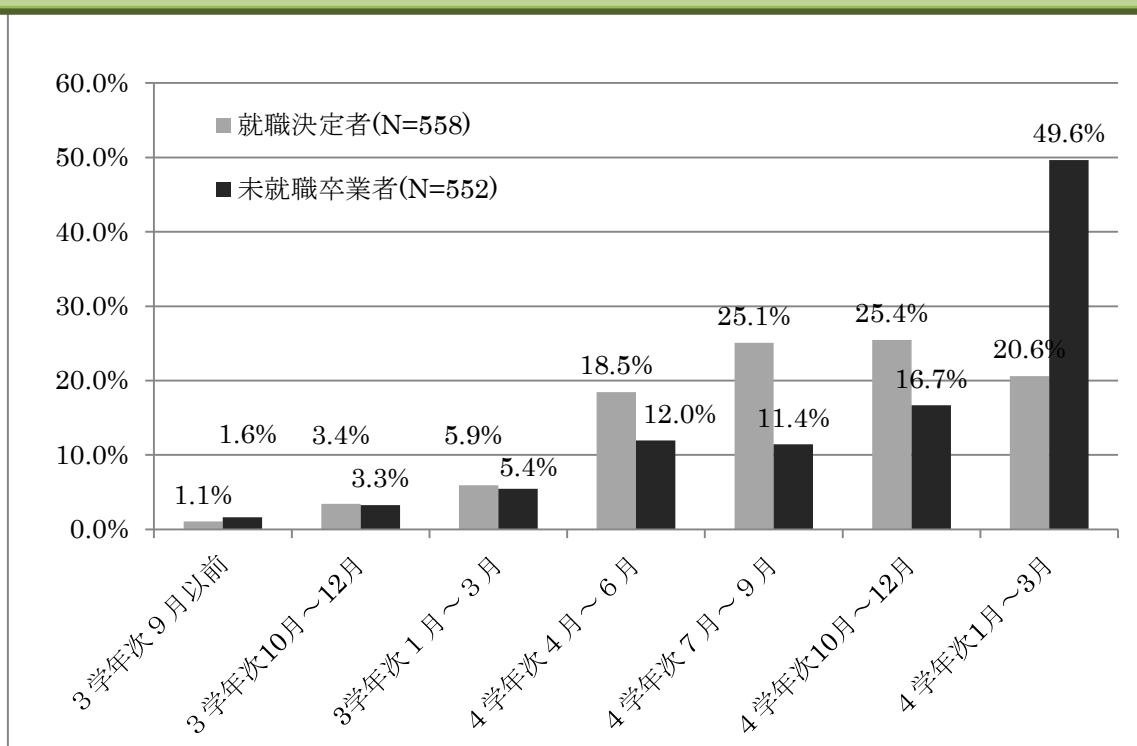
(図1) 就職活動を始めた時期



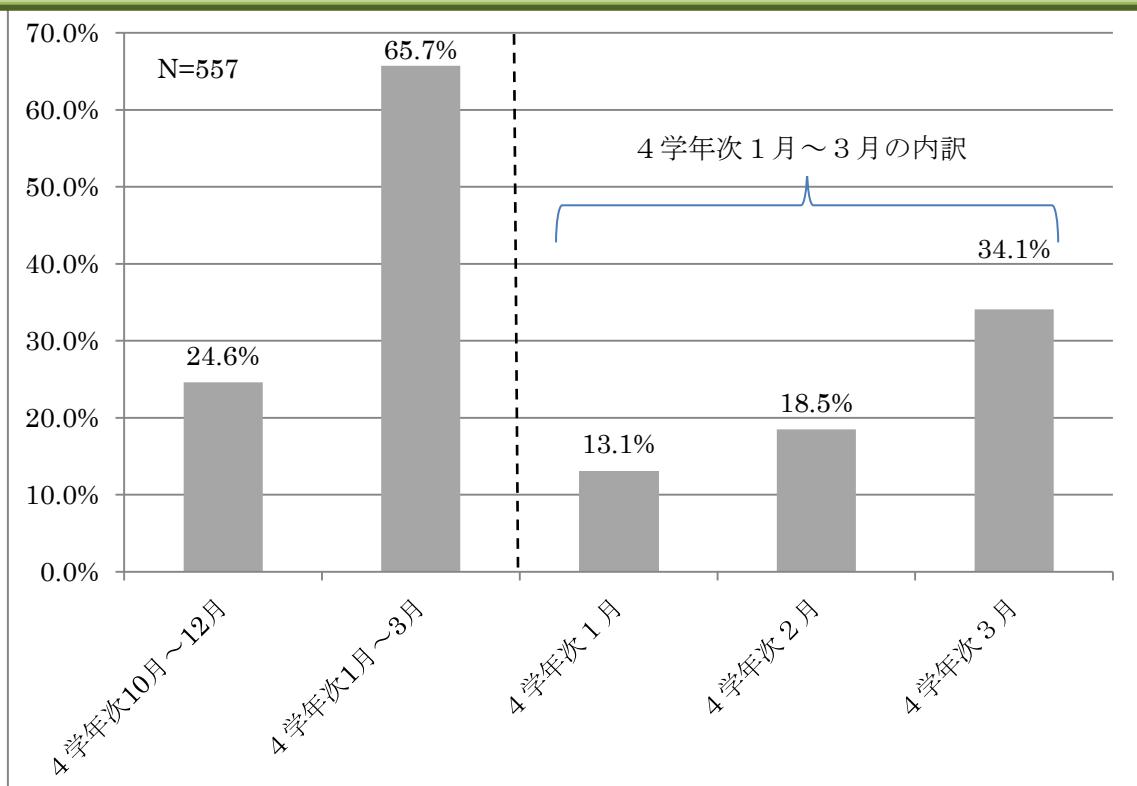
(図2) 就職活動を中断していた時期の有無及びその時期



(図3) 新卒応援ハローワークを初めて利用した時期

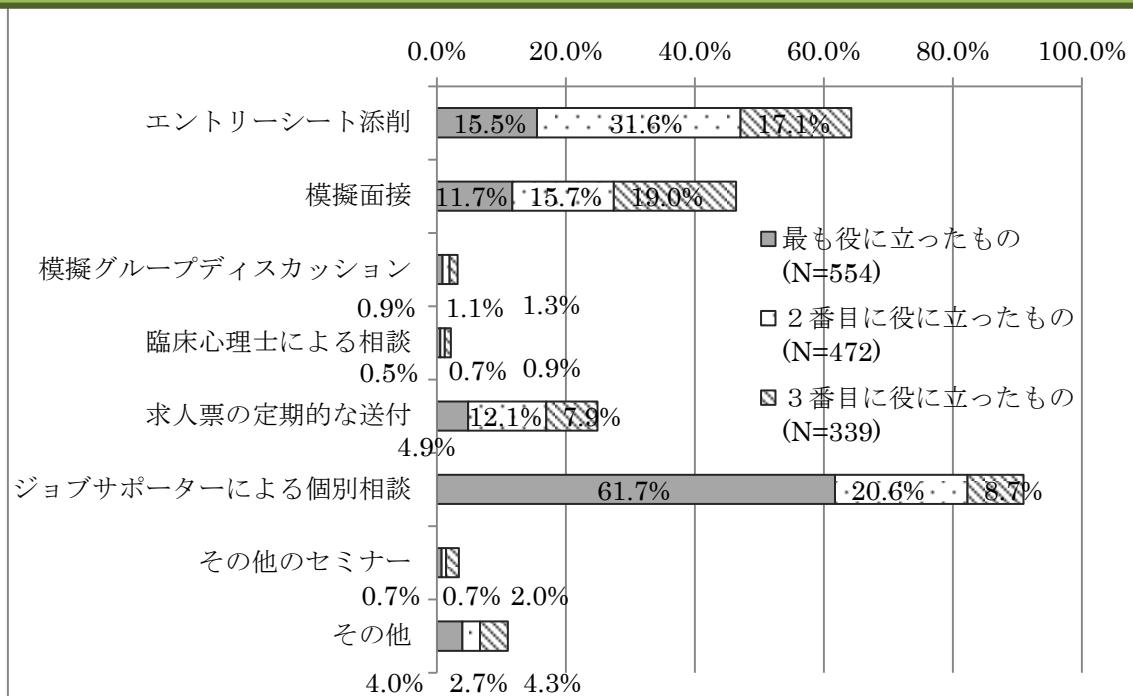


(図4) 就職が決まった時期（いわゆる内々定を含む就職決定者）



※回答者には、一部就職決定時期が4学年次9月以前の方が含まれるため、合計は100%とならない。

(図5) 新卒応援ハローワークの取組で役に立ったもの（就職決定者）(3番目まで回答可)



※ 新卒応援ハローワークは、学生・生徒及び既卒3年以内の方を対象に就職支援を行っている施設であり、平成22年9月より設置。平成25年4月1日現在全国57箇所。

問い合わせ先

職業安定局派遣・有期労働対策部企画課

若年者雇用対策室

牛島 聰

吉田 勉 直通：03-3597-0331